

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 149 2月号

2018年2月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから
(<https://www.lib100.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.139

「読書は暇つぶし」

新宮町 田中 章

本は、暇はあるが金がない人間の、暇つぶしともいわれます。

小学校のころは、透明人間、タイムマシン、地下帝国などの世界を楽しむ「空想の読書」でした。

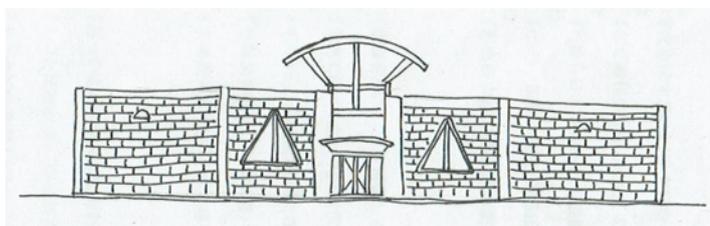
中学、高校のころは、「逃避の読書」です。定期テストが近づくと、なぜか読書意欲が湧くのです。心理学でいう“先延ばし行動”です。

学生時代、ついに「暇つぶしの読書」に達しました。本を読んでいると新しい書名や著者に出会う「繋がり読書」、野本三吉や宇井純などがそうです。芥川龍之介など文豪の作品や気合を入れて読んだ岩波新書などの「背伸びの読書」、斉藤喜博や東井義雄といった「勉学の読書」、そして、原作を読んでから映画を観て脚色の妙を楽しむ「映画の読書」もありました。

勤め始めてからは「作家の読書」を試みました。松本清張や司馬遼太郎などですが、その中には友人から教えてもらった南木佳士などもあり、「紹介の読書」はジャンルの幅を広げてくれました。通勤電車の中の「誘眠の読書」は2駅すぎた頃、心地よい眠りに落ちます。しかし、何冊か車内に忘れ、駅の忘れ物センターのお世話になりました。

かつて旧新宮町の吉田教育長さんは、「図書館は貸本屋ではない。」と言われました。

新宮図書館ならではの郷土資料や少し奥まった棚からも本を借りて、脳の活性化、体力づくり、未知との出会いのための「暇つぶしの読書Ⅱ」を開始しようと思います。



たつの市立新宮図書館

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『震度7 何が生死を分けたのか ~埋もれたデータ21年目の真実~』

NHKスペシャル取材班 著 ベストセラーズ



阪神・淡路大震災の被災直後に集められた数十万件に及ぶデータは、様々な教訓を導き出した一方で、意外にも十分な分析を受けな

いま残されてきた。平成28年、取材班は、埋もれたデータを徹底的に掘り起こす中で、それまで知られていなかった震災当日に亡くなった5,036人一人ひとりの死亡の原因、場所、時刻等を詳細に記録した「死体検案書」のデータを入手した。そして「データビジュアライゼーション」と呼ばれる映像の最新技術で、記録された死亡時刻等と収集された膨大なデータを重ね合わせ、被災地を時間経過で可視化することにより、被災地で何が起こり、多くの人々がどのようにして命を落としていったのかを検証した。

地震発生直後の1時間で約4,000人が亡くなっていくが、死因の98%は、「圧死(即死)」ではなく、胸や腹に柱や梁などの重量物が

乗ることで徐々に呼吸ができなくなり死亡する「外傷性窒息」だったことから、地震直後かなりの人がまだ生存していたことがわかる。さらにその1時間後、地震直後の死を免れた900人以上の人を、電気が再開されたことによる「通電火災」が襲い、約90名が命を落としていった。さらに5時間後、なお500人近くの方が助けを待っていたが、道路に生じた30センチの段差と安否確認等のためのマイカー利用による大渋滞が発生し、救助隊も行く手を阻まれ、次々と命を落としていった。

取材班は、埋もれたデータの解析から、必要な対策をとっていれば救えた多くの命があったことを検証する一方で、今も耐震化、通電火災対策、渋滞対策等の根本的な対策が取られていないことに警鐘を鳴らしている。当日犠牲となった5,036人の死の記録は、助かるはずの命が助からないという悲劇を繰り返さないでほしいという重いメッセージにほかならない。

(新宮図書館 米澤)

トピックス

イベントのお知らせ

※申込、問い合わせは各図書館まで



読書講演会「さあ、あさのあつこ 本の話のはじまり」

児童文学、時代物、恋愛小説と幅広いジャンルで活躍中の作家、あさのあつこ氏をお迎えして、対話式の講演会を開催します。

- 【日時】 3月21日(水・祝) 開場:13時30分 開演:14時
- 【場所】 たつの市総合文化会館 赤とんぼ文化ホール 中ホール
- 【対象】 中学生以上
- 【定員】 先着330名(全席自由席) 入場無料、ただし入場整理券が必要です。
※整理券は申込先の図書館でお受け取りください。
- 【申込】 市内各図書館(電話可)

申込者が定員になり次第、受付を終了します。ご了承ください。

御津図書館

読書講演会

「世界の記憶・朝鮮通信使と室津」

ユネスコの「世界の記憶」に登録された朝鮮通信使についての分かりやすい解説や室津との関わりについて紹介します。

- 【講師】 柏山 泰訓 氏
(「嶋屋」友の会事務局長)
- 【日時】 2月18日(日)
13時30分~15時
- 【場所】 御津図書館 2階 多目的室
- 【対象】 中学生以上
- 【定員】 40名(先着順)
- 【申込】 御津図書館(電話可)

新宮図書館

ニュース番組をつくろう!!

実際にテレビ局で使われている機材を使い、アナウンサーやディレクターになってニュース番組をつくりまします。

- 【講師】 朝日放送 OPEN アップ推進部
- 【日時】 2月25日(日)
14時~15時30分
- 【場所】 新宮図書館 研修室
- 【対象】 小学5・6年生
- 【定員】 30名(先着順)
- 【申込】 新宮図書館(電話可)

龍野図書館

「子どもと楽しむ絵本」

本年度たつの市では「たつの市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。そこで、子どもと読書に関する講演会を開催します。

- 【講師】 芦田 悦子 氏
(兵庫県子どもの図書館研究会代表)
- 【日時】 3月3日(土)
13時30分~15時
- 【場所】 龍野図書館 2階 研修室
- 【対象】 一般
- 【定員】 30名(先着順)
- 【申込】 龍野図書館(電話可)
※2月14日(水)から受付

『まあちゃんのながいかみ』 たかどの ほうこ さく 福音館書店



はあちゃんとみいちゃんは髪が長いのが自慢ですが、まあちゃんの髪は短い

おかつぱです。はあちゃんとみいちゃんは、背中が全部隠れるくらい伸ばそうと思っていましたが、まあちゃんは「なーんだ、あんたたちたったのそれしかのばさないの？ あたしなんかね、もっとずっとのばすんだから」と言いました。その長いことといたら、橋の上からおさげを垂らして魚が釣れるくらい。牧場の柵の所からおさげのロープを飛ばせば牛が捕まえられるくらい。と、まあちゃんは伸ばした髪でどんなこと

ができるだろうと考えました。

「だけど、そんなにながかったらあらうのがたいへんじゃない？」「それにどうやってとかすのよ、そんな髪」と、はあちゃんとみいちゃんが尋ねると、まあちゃんは「へっちゃらよお、おっもしろいもんよ！」と言いました。まあちゃんの髪は、シャンプーをつけて洗うと、雲まで届く大きなソフトクリームになったり、川の岸に寝そべて髪をゆすげば、流れていって川の昆布になったり…と想像は膨らんでいきます。

3人の女の子が話している現実の世界と、まあちゃんの空想の世界が、モノクロと色鮮やかなカラーの絵で描き分けられ、ストーリーの面白さを強調しています。4歳くらいから。 (龍野図書館 三葉)

『まぼろしの白馬』 エリザベス・グージ 作 石井 桃子 訳 岩波書店



父を亡くし、みなし子になった13歳のマリアは、シルバリー・デュー村の領主館、ムーンエーカー館に住む、遠いとこのベンジャミン卿に引き取られることとなります。

マリアはベンジャミン卿に挨拶をした瞬間、この風変わりな老紳士が大好きになるだろうと思いましたが、初めて持つ自分の部屋がまるで特別自分のために作られたようで気に入りました。

しかし、松林の中の城には荒くれ者の“黒い男たち”が住んでいて、村の人たちを湾に行かせず、動物たちに罠をしかけたり、盗みをして困らせていました。

やがて、マリアは黒い男たちの先祖である黒ウィリアムとマリアたちの先祖であるロルフ卿の因縁と月姫にまつわる言い伝えを知り、村の皆が待ち望んでいた、黒い男たちから村を救い出す勇気ある月姫の務めを果たすために奮闘します。

マリアは、新しい月姫がやってくる1年前から館に住み着いて守るという“黄褐色の大きな犬”や村に伝わる“まぼろしの白馬”など不思議な動物たちの力を借りながら、黒ウィリアムの行方の真相と月姫の真珠のありかの謎を解き明かしていきます。

黒い男たちに立ち向かい、ずっと続いてきたわだかまりを解く展開に、はらはらしつつも、皆が幸せになるラストはロマンチックで心が温まります。小学5年生くらいから。 (揖保川図書館 菅尾)

2月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者

17日(土)・24日(土) 11時～11時20分
『とらたとおおゆき』他

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者

12日(月)・18日(日)・26日(月) 11時～11時20分
『まるまる』他

揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者

3日(土)・10日(土)・17日(土) 10時30分～10時50分
『このゆきだるまだーれ?』他

御津図書館

【対象】1～4歳児、保護者

11日(日)
11時～11時20分
『とらたとおおゆき』他

【対象】5歳児～

11日(日)
11時30分～11時50分
『まほうつかいのノナばあさん』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳児以上】・・・昔話などの語り、絵本の読み聞かせなど

新宮図書館

3日(土)・10日(土)・17日(土)・24日(土)
10時15分～10時45分
『ゆきんこ』他

揖保川図書館

3日(土)・10日(土)・17日(土)
11時～11時30分 「ねずみのすもう」他
※2月はおはなしの後にとんとん相撲大会をします。

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館

9日(金)
10時～11時30分
『ノンちゃん雲に乗る』
石井 桃子 著

揖保川図書館

16日(金)
10時～12時
『グラウンドの空』
あさの あつこ 著

御津図書館

21日(水)
13時30分～15時30分
『山の音』
川端 康成 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館

8日(木) 10時～11時30分
『車輪の下』ヘルマン・ヘッセ 著



館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

平昌オリンピック 始まる!!

韓国の平昌(ピョンチャン)で開催される冬季オリンピックにちなみ、オリンピックやパラリンピック、ウィンタースポーツなどを特集します。

【期間】2月27日まで

新宮図書館

さまざまな文学賞

江戸川乱歩賞、大藪春彦賞、ノーベル文学賞など、純文学からエンターテイメントまで、様々な文学賞を受賞した作品を紹介いたします。

【期間】2月26日まで

揖保川図書館

名前ってなに?

犬、桜、飛行機、カレーライス…。「もの」には必ず名前がついている。それは誰かが名付けたもの。何度も何度も、いろんな人が呼ぶうちに、愛着がわいてくるのかもしれない。人の名前も同じ。

【期間】3月15日まで

御津図書館

梅まつり

毎年2月11日(日・祝)に行われる御津の梅まつりにちなんで、梅に関する本を集めています。梅の種類や料理、活用法など、梅のさまざまな魅力を紹介いたします

【期間】2月27日まで